

研究のデザイン

“研究とは未解決問題の解明である”

学 群(学部)

大学院

MC

DC

問題の設定

これが出来れば研究は半分終わり！

研究 ← → 勉強

問 題

動 機

なぜこの研究をしようとするのか？ 実技実践に根差していること

武道全体の鳥瞰図の把握

武道学全体を把握した上で
何が問題となりうるかを知る

先行研究の検討

既にわかっていることと、わかっていないことを知る → 未解決問題を設定

歴史研究・思想研究・専門用語(ターミノロジー)研究・*現代のライフヒストリー研究

オリジナリティー

私が初めて！

「問題」をこのブラックボックスに入れると「答え」が出てくるイメージ

* 文献学 + 質的データ分析法

文献学

武道学では伝統的にこの手法を用いる
史料を読み解くことにより答えを導き出す

→ 史料の取り扱いが生命線



原典に当たる



可能な限り
第一次史料を用いる

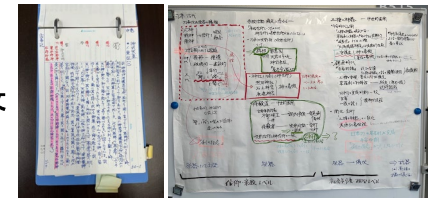
文献学において重要なのは「行間を読むこと」
史料には問題に対する答えがダイレクトに記されていることは少ない
文脈の裏に垣間見られる事象を自らの「感性」で読み解いていく

データベースの作成
記述内容、出典(著者・書名・出版社・ページ・出版年)、キーワード、
自分なりのメモをExcel等で整理

手で書く

→ 文章の内容に集中する方法
<カード法>カードを書くことにより文脈をデータ化・分類・整理・分析する

Key 比較 ● 通時的比較: 同一対象を時代別に比較
● 共時的比較: 同時代の別の対象を比較



大きな画を描く

答 え

未解決問題を解き明かした
学会に寄与すべき新たな知見

やり遂げた達成感
自分の武道実践のため
日本の武道のため
世界の武道のため

* 勉強: 既に世の中でわかっていることを知識として身に着けること
研究: 世の中でわかっていないことを解き明かすこと